

# 視野を広げ、生き方についての考えを深めることができる生徒の育成

—ゲストティーチャーの活用とデジタルポートフォリオによる振り返りの充実を通して—

令和6年度 前橋特別研修研究員  
前橋市立第一中学校 芹澤 直人

## 研究の目的

ゲストティーチャーの活用とデジタルポートフォリオによる振り返りの充実を通して、視野を広げ、よりよい生き方について考えを深めることができる生徒の育成を目指す。

### 【指導上の課題】

- ・同年齢の集団では、視野を十分に広げることができず、考えを深めることが難しい。
- ・日常生活の中で、学んだことを振り返る機会が少ない。
- ・効率的に学習の成果を蓄積できておらず、それをうまく活用できていない。

### 【生徒の実態】

- ・自分の意見を述べたり周りの考えを受け入れたりする雰囲気がある。
- ・話し合おうという意識は高いが、経験や思考に大きな差が無く、議論が深まらない。
- ・授業で学んだことが、日常生活に結び付かない。

## 目指す生徒像

# 視野を広げ、生き方についての考えを深めることができる生徒

## 手立て1 視野を広げるためのゲストティーチャーの活用

### ゲストティーチャーのリスト化



多様な人

### 様々なつなぎ方

・対面 録画 手紙 オンラインなど

どのような人材をどう活用すればよいか、すぐに使える情報を提供するために、内容項目や教材に合わせて学校内外の人材をリストアップし、「ゲストティーチャー活用リスト」を作成する。

### ゲストティーチャー活用リスト (一部抜粋)

	教材	内容項目	校外	校内	活用例
16	C 震災を乗り越えて	防災・防災の大切さ、防災グッズの活用	地域人材	地元出身の教師	地元で起きた震災や
17	C 使っても大丈夫?	造法精神、公徳心	弁護士	情報担当	生徒たちで議論を出
18	C 公平と不公平	公正、公平、社会正義	法曹関係者	生徒指導担当	専門的な立場からの
19	C 違いを乗り越えて	国際理解、国際貢献	NGO、NPO職員	ALT	具体的な活動の場

### 授業の打ち合わせ

生徒の視野を広げるためには…



生徒だけでは得られない多面的・多角的な視点を提供できるよう、授業のねらいや生徒への関わり方について打ち合わせを行う。

### 授業までの流れ

#### ①人材選定

内容項目にふさわしい人材を活用リストを用いて選定する

#### ②活用方法の確認

活用例の欄でどのように活用するか確認する

#### ③打ち合わせ

ゲストに期待することを伝え、授業の展開を確認する

#### ④授業

例：ALT 外国の人と深く交流した経験の少ない生徒達に対し、導入の場面で外国の人の立場から問題提起をしてもらうことで、国際理解において新たな視点を持つことができると考える。終末の場面では、外国の人と分かり合うために大切なことについて助言をもらう。

## 手立て2 デジタルポートフォリオによる振り返りの充実

### < 道徳科の授業の終末 >

#### デジタルポートフォリオ



学んだことや成長の過程を振り返ることができるようになるために、学習者用端末を使って「デジタルポートフォリオ」に授業の記録を蓄積する。

授業で学んだことを簡単に振り返ることができるので、自分の成長を実感することができる

#### ワークシートや板書とリンク

端末に保存した過去の授業記録（ワークシートや板書）にリンクを貼ることで、学んだことを容易に振り返ることができるようにする。



#### 振り返り欄の充実

授業の振り返りを一覧できるようにすることで、授業の中で得られる気づきを通じて、自分の成長を感じられるようにする。

### < 日常生活 >

#### 心の探究タイム

<心の探究タイムとは・・・>

道徳科の授業で学んだことを、日常生活のどのような場面で生かせるかについて振り返る時間を週に1回程度行う。月に一回程度、探究タイムの中で「心の交流タイム」と称して学級の仲間との意見交換の場を設ける。

授業で学んだことを生活と結び付けて考えるよい機会になる

#### 道徳コーナー

教室内に道徳科に関わることをA4サイズの紙にまとめて掲示し、いつでも学んだことを振り返ることができるようにする。付箋を常備し、授業で学んだ内容や日常生活の出来事に関連する点を自由に付箋に記入し、貼れるようにする。

### < 学期末 >

#### キャリアパスポート

#### 根拠のある振り返り活動

学期始めの記録と比べることで、自分の成長を実感できるようにする。デジタルポートフォリオを参照することで、根拠を明確にしながら自分自身の成長を振り返ることができるようにする。

昔の自分と比べることが簡単にできるから、変化が分かりやすく、自信をもって成長したと言える

学んだことをいつでも見直せるし、付箋で友達の考えを知ることができるのがいい!

#### 学びを可視化



# 手立て1 視野を広げるためのゲストティーチャーの活用

## 授業の様子



**導入**  
外国のことを理解しようとしてくれるのは嬉しいけど、自国の文化は知ってもらわなくていいのですか？



**展開**  
外国の人を思いやりつつ、自国の文化も伝えるためには、どうすればいいんだろう？



**終末**  
大切なのは忍耐、理解、好奇心です。日本の文化を外国の人の目から見られるようにしてみてください！

今まで外国のことを知ることが国際理解だと思っていたが、日本のことを知ったり伝えたりすることも大切だということをALTの言葉を聞いて実感した。(生徒の感想より)



授業後  
先生の国の文化についてもっと知りたいです！

### 主題名 多文化の理解を深める C-(18) 国際理解、国際貢献

立 場	本校ALT (アメリカ合衆国出身) 外国人の立場
目 的	外国出身で身近な存在であるALTをゲストティーチャーに招き、「多文化の理解を深めるために大切なこと」について、外国人の立場で率直な想いを述べてもらうことで、生徒の視野が広がり、多面的・多角的に深く考えることができるようになる。
打ち合わせ	導入において、生徒だけでは得られない、外国人の人ならではの視点から問題を投げかけてもらうように依頼した。終末では、授業に参加しての率直な感想と、外国人の人と関わる上でのアドバイスを述べてもらうように伝えた。

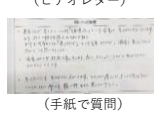
## ゲストティーチャーの活用例

<決まりを守る C-(10) 遵法精神、公德心>  
赤城少年自然の家 職員

林間学校直後に、生徒の頑張りを認めてもらうとともに、林間学校での過ごし方について問題提起をしてもらうビデオレターをいただいた。授業後に、生徒が考えたことを書いた手紙を送った。



<支え合う生命 D-(19) 生命の尊さ> 看護師  
「命について」考える授業の後に、生徒から出た命についての質問を現役の看護師に送り、回答してもらった。生徒は看護師からの回答を読んだ上で改めて命について考え、学級内で意見交換した。



	教材	内容項目	校外	校内	活用例
18	C 公平と不公平	公正、公平、社会正義	法曹関係者	生徒指導理由	実際に自然に関わる
19	C 違いを乗り越えて	国際理解、国際貢献	NGO、NPO職員	ALT	具体的な活動の経験
20	D あふれる愛	生命の尊さ	看護師	養護教諭	死と隣合せの環境に

これまでの自分にはなかった視点で問題について考えられた。  
自分では考えられなかったことを教えてもらった。(生徒アンケートより)

ゲストティーチャーを活用する教材は、生徒だけでは視野が広がりにくいと考えられるC(集団や社会との関わり方)とD(自然や生命、尊さとの関わり方)に絞った。生徒の事後アンケートの記述や行動の変容から、生徒が新たな視点を持つのに有効であると考えられる。

# 手立て2 デジタルポートフォリオによる振り返りの充実

## デジタルポートフォリオ

学習者用端末を使って、デジタルポートフォリオに授業の記録を蓄積した。学んだことや成長の過程を振り返りやすいように工夫した。

**日記例**  
4/20

**教材名**  
サッカーの理窟を描きたい

**内容項目**  
A-4) 困難を乗り越える力

**振り返り**  
簡単に過去の授業を見返すことができ便利。板書を見ることで授業をよく思い出すことができる。(生徒アンケートより)

**板書やワークシートのリンクを貼り、簡単に見返せるようにした**

**関連資料**  
https://drive.google.com/file/d/1hox7C5SnByQzScham3k3ZuHL08coY9Uw/view?usp=sharing

**心の探究タイム**  
実際にマザーレサのように命を守るようなことがなかったけれど、ちょっとしたことで困っている人がいたら手を差し伸べることができた。(10/8)

**活動の基となるポートフォリオ(教師が作成した記入例)**

## <個の振り返り> 心の探究タイム <仲間との振り返り>

**<個の振り返り>**

授業で学んだことを基に考えると...

あの中の私の行動は学んだことを生かしていたな

**【心の探究タイム】**  
デジタルポートフォリオを用いて、振り返り欄や板書を見返しながら、道徳科の授業で学んだことと結び付けて普段の生活を振り返っていた。キャリアパスポートで自分自身を振り返る際にも活用していた。

**<仲間との振り返り>**

私はこう捉えてるよ

〇〇さんの言動には、授業で学んだことが生かされてるね!

言ってもらって気が付くことができたよ

**【心の交流タイム】**  
道徳科で学んだことと結び付けて、積極的に友達の良いところを伝え合っていた。自分だけでは気が付かない一面を知り、喜ぶ姿が見られた。

**道徳コーナー**

学んだことと生活や行事を結び付けて考えたり、行動したりしたという記述がみられるようになった。(生徒の付箋より)

デジタルポートフォリオを活用し始めた当初は、生徒の記述の文末に「～と感じた」「～と思った」という表現が多かった。2学期末になると、「～した」「～してみた」「～できた」という文末が増えた。このことから、実践の積み重ねによって、生徒の道徳的心情や道徳的実践意欲が少しずつ育まれてきていると考えられる。

## 成果と課題

- ・ゲストティーチャーを意図的に活用することにより、生徒だけでは得られなかった多面的・多角的な視点からの意見を聞くことができ、これまでの視野を広げ考える生徒の姿が見られた。
- ・授業での学びをデジタルポートフォリオに蓄積し、「心の探究タイム」で自分自身のことを振り返ったり、友達と認め合ったりすることによって、よりよい生き方について考えを深めようとする生徒が増えた。
- ・ゲストティーチャー活用リストとデジタルポートフォリオは、改良を重ねながら今後も持続可能に取り組めるようにしていきたい。